

|            |              |
|------------|--------------|
| <b>学校名</b> | 熊谷市立江南中学校    |
| <b>所在地</b> | 熊谷市江南中央2-1-1 |
| <b>電話</b>  | 048-536-1335 |

## 1 本校の概要

創立 58 年目となる本校は、「志高く」「心豊かな生徒 自ら学ぶ生徒 たくましい生徒」を教育目標に掲げ、活動している。本年度は特別支援学級 2 クラスを含む 11 学級、275 名の生徒が在籍している。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

#### ア 地域との連携

近隣の関係小学校 2 校との連携を図り、地域の読み聞かせボランティア「せせらぎの会」に、年間 3 回読み聞かせをしていただいている。

#### イ 学校図書館の環境の工夫

選書の際は、生徒の興味・関心を考慮している。図書館では生徒が本を見つけやすいよう、配架の方法を工夫している。

### (2) 実践の概要

ア 7 月、12 月、3 月に各 1 回ずつ、朝読書の時間を活用して、学級ごとに読み聞かせを行っている。図書委員会の生徒が運営に携わり、全員が書いた感想を講師に渡すことにしている。

イ 年に一度、全校生徒を対象に、朝読書で読んでいる本を調査し、読書傾向をまとめ、人気本を紹介したり、新刊図書の見出し物を作成したりしている。図書館内では、夏休みの全校課題である読書感想文をファイリングし、手にとって読めるようにしている。また、本を作者別に配架し、同作者の別作品に触れやすいよう工夫している。国語の授業で作成した POP や帯なども実際に活用している。



【作者別の配架】



【新刊図書紹介】



【朝読書調査】



【POP の活用】

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 読み聞かせの前後には、地域の方との交流を通し、貴重な情報交換を行っている。小学生の時から顔見知りの講師の方との交流を楽しみにしている生徒も多い。よい姿勢を保持して、落ち着いて話を聞くことのできる生徒が増えた。感想も全生徒がお礼の言葉を交えつつ、一定量をまとめることができるようになった。

イ 長期休み前の特別貸し出し期間は、一人 3 冊借りることができる。冬休み前には、図書委員が「3 日間の貸し出し冊数を 100 冊」と目標を立て、各学級で積極的に声かけを行った。その成果もあり、138 冊という結果を出すことができた。学年別に見ると 1・2 年生が 58 冊、3 年生が 22 冊という内訳になっている。

### (2) 課題

読み聞かせを小学校から継続して中学校でも実施しているのは珍しく、本校の特色ある活動の一つとなっている。平成 15 年度から始まったこの活動は、運営もシステム化しており定着してきているが、さらに改善点はないかという視点を持ち、引き続き取り組んでいきたい。

### (3) おわりに

どれだけ図書館の環境を整えても、足を運ぶ気にならなければその環境のよさは生徒たちには伝わらない。今回、利用者数が増え、貸し出し冊数が増加したのは、まさに図書委員の生徒たちの声かけによるものであったと考えている。今後は委員会活動をさらに活性化し、魅力ある図書館運営を目指していきたい。併せて、図書館利用時のマナー指導にも力を入れていきたい。